

# ■ ■ 留学だより No.8(3月) ■ ■

こんにちは。留学して7か月、時の流れは本当に早いと実感します。4月から新年度ですね。クラス替えの日は夜更かしして友達からの報告を待っていました(笑)。

改めて11期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして17期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

こちらの春休みにあたる Easter Break は日本のちょうど1学期が始まる頃、4月9日からなのでまだ学校は少し続きますが、前回紹介したように学期の途中に Mid-term break があるので、体感的にクリスマス以降はあっという間です。

今回は St. Patrick's Day、前回も少し触れたコロナの規制緩和、ロンドンへの旅行について書こうと思います。

## (1) St. Patrick's Day

3月17日は St. Patrick's Day と呼ばれ、アイルランドでは祝日です。5世紀にアイルランドでキリスト教を広めた Patrick の命日にちなんでいるそうです。アイルランドの美しい緑の自然に由来するということで、当日は緑の洋服を着たり、フェイス ペイントをしたり、ヘアバンドをしたりして、町中のありとあらゆるものが緑になります。



私たちは 1 番大きなパレードが開かれるということで首都のダブリンに行きました。左下の写真のように本当にたくさん人が訪れていました。写真から服装などの様子も分かると思います。コロナの影響で 2 年ぶりの開催ということもあり、歩いていても英語以外の言語がたくさん聞こえるくらい観光客も多かったです。音楽隊がいたり、ダンスをしていたりしている人がいました(混みすぎてあまり上手く写真が撮れませんでした…)



←このキャラクターはアイルランドに伝わる妖精のレプラコーンで、たくさんの方が写真のように仮装をしていました。

## (2) コロナについて

前回お伝えした通り、2月28日からマスクの着用が義務ではなくなり、それから1か月が経ちました。日本のように毎日の感染者数を気にしていないので、1か月前と比べて感染者数がどれほど変化したのかは分かりませんが、ほぼほぼコロナ前の日常を取り戻したような感じです。義務化が終わった途端、学校ではほぼ誰もマスクをしなくなり教卓の前にあったクリアボードや玄関口にあったサーモグラフィーがなくなりました。一方でバスの中では、お年寄りの方を中心に3割くらいの方がマスクをしています。

また恐らく先ほど紹介した St. Patrick's Day の日に関わり、かなりの人ごみの中にいた影響で、その数日後に一緒にホームステイしている子のうちの2人がコロナに感染してしまいました。私はもちろん濃厚接触者なのですが、症状がない限り、普通の生活を送ることができ、隔離は必要ありません。

## (3) Travel to London

3月31日から4月5日にかけて5泊6日でロンドンに旅行に行きました。クリスマスにイギリスに留学している大野さんを訪ねたのですが、それはイングランドではなくウェールズだったので、ロンドンは初めてでした。誰と行ったかというところ…実は私の家族が日本から来ました！！もともとアイルランドに来ると言っていたのですが、私がアイルランドの有名な観光地にすでに行ったことがあったため、他のヨーロッパの国に行けるか親に交渉して実現することができました。

—1日目—

夕方に家族と再会しましたが、7 か月ぶりの再会にしては全く感動的なものではありませんでした(笑)。私がアイルランドに来たときも経由先としてロンドンを利用して、そのときは羽田から 12 時間だったのですが、今回、私の家族のフライトは 15 時間かかったそうです。不思議に思って聞いてみたら、ロシアとウクライナの戦争の影響で日本から西回りには飛行機が飛べないようで、東回りで来たと言っていました。戦争の影響はこんなところにも出るのだなと感じました。



泊まったのはロンドンの中心部から電車で 15 分ほどの Paddington です。電車はとても発達していて、中心部は日本と同じようにどこでも電車で行くことができました。さらにどの電車も山手線のように 5 分に 1 本来るのでとても驚きました。駅は上の写真のようになりかなり大きかったです。ここは映画“Paddington”の舞台になっているので、駅のベンチに絵が描いてあったり、銅像があったりしました。

—2日目—



最初に Big Ben に行きました。2017 年から工事をしているようでようやくほぼ完成したようです。真ん中は中心の最も賑わっている Oxford Street の様子です。高級ブランドのお店からユニクロまでありました。右はロンドンのシンボルともいえる赤い公衆電話です。



上の写真は Westminster Abbey 中の様子です。1066 年以降、ここで載冠式が行われていて、3000 人以上の偉大な人が埋葬されているとのこと。



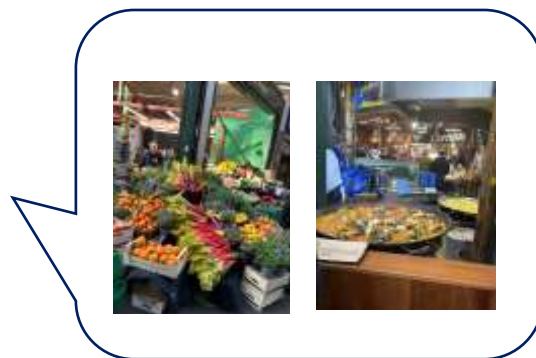
左上は Buckingham Place です。王室の宮殿ということで中に入ることはもちろんできませんでしたが、たくさんの観光客が訪れていました。衛兵の交代式もその周辺で行われています。たまたまパレードを見ることもできました。この日の夜はメリーポピンズのミュージカルを見に行きました。実は、ロンドンはミュージカルがとても盛んで、有名なお話の初演がいくつも行われています。生の演奏や歌、それから舞台装置も圧巻でした。

—2日目—



2 日目は世界遺産にも登録されている Tower of London に行きました。もともとは中世の城塞で、興味深い展示がたくさんありました。近くには跳ね橋として有名な Tower Bridge もあり、開閉の様子もしっかり見ることができました。

午後は1000年以上の歴史があり、イギリス国内市場最大規模の食品市場、Borough Market でお昼を食べました。見たことのない野菜や様々な肉、他の国の料理など本当にたくさんの食べ物が売っていました。



ロンドンには金融関連もとても発達しています。左の写真は Bank of England、つまりイギリスの中央銀行なのですが、1694 年に開業し、世界で2番目に古い中央銀行だそうです。銀行にしては建物がかっこよすぎる！と思いました(笑)。

—3日目—



この日は最初に Trafalgar Square を訪れました。戦争の勝利を記念した大きな像がありました。ちなみにこの日はたまたまロンドンマラソンが開催されていて、ここもコースの一部になっていました。その後はショッピングエリアの1つとなっている Covent Garden に移動しました。ここはマーケット以外にも大道芸といったエンターテインメントも盛んで、たくさんのストリートパフォーマーがいました。



その後は The British Museum に行きました。ここは世界最大の博物館の1つで様々な国の歴史が分かる貴重な展示をたくさん見ることができました。右上の写真のモアイ像のように、どの展示物も歴史の教科書に出てくるようなものばかりでした。

—4日目—



帰る前日にはせっかくだからロンドン以外にも観光に行ってみようということで、電車で1時間弱のOxfordに行きました。ここは大学の中に街が造られていて、街全体がロンドンに比べて落ち着いていると感じました。右上の写真はafternoon teaです。イギリスの貴族の習慣で、teaとともにサンドイッチやスコーンを楽しみます。



世界屈指の名門であるUniversity of Oxfordも訪れました。大学の建物全体に荘厳な雰囲気が漂っていて、いるだけで賢くなった気分になりました(笑)。ちなみに真ん中の写真の場所はハリーポッターの映画でも使われた食堂です。

以上がおおまかなロンドン旅行の様子になります！

ということで、今回はこの辺りで終わりたいと思います。まさか日本に帰る前に家族に会うなんて全く予想していませんが、新しい文化を体験できて良い気分転換になりました。また、その時に家族が、私がリクエストしていた日本のお菓子を持ってきてくれて、実はこれが一番嬉しかったことかもしれません(笑)。

次号ではEaster Breakについて書こうと思います。すでに1つ旅行が決まっているので、その様子も楽しみにしててください。

最後まで読んでくださってありがとうございました。

戸塚